

応急手当（包帯法）

- ★ 傷の保護、感染防止や止血効果などの悪化防止に加え苦痛の軽減を図ります。
- ★ けがをした部分を固定して、動揺を防ぎます。

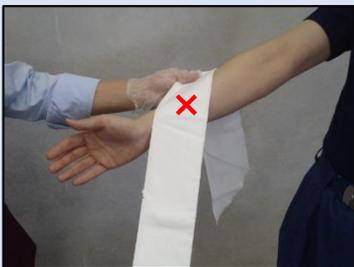
【包帯法の手順】

圧迫包帯止血法

- ・ **感染防止**のためゴム手袋等をして手当てをしてください。
- ・ 大出血があるときは、直接圧迫止血により大出血が治まってから行う方法です。

◆ 前腕部

八つ折りたたみ三角巾の**3分の1**の部分を傷口に斜めに当てる。



×…傷口

手首側から**適度に圧迫**しながら、上腕に向かって**巻き上げる**。



巻上げる際は三角巾が2分の1から3分の1重なり合うようにする。

結び目が**傷の上**に**こない**ように結ぶ。



◆ 膝部

四つ折りたたみ三角巾の**中央部分**が**膝の内側**にくるように傷口に当て、三角巾を膝の内側に回し交差する。



×…傷口

交差した三角巾の上になっている端を下に、下になっている端を上を回し、**上下の縁を押しえる**ように巻く。



巻上げる際は三角巾が2分の1から3分の1重なり合うようにする。

傷口を避け、膝の**外側**で結ぶ。



動かす時も結び目が邪魔にならず、関節を動かせる。